

光市子ども・子育て支援に関する市民アンケート の調査結果の概要について

令和6年8月

1 調査方法

調査対象者	①小学校就学前児童の保護者 1,200人 ②小学生とその保護者 900人
調査方法	郵送による配付、回収
調査時期	令和5年11月20日～12月18日
調査票回収数	①小学校就学前児童の保護者 624件(52.0%) ②小学生とその保護者 458件(50.9%)

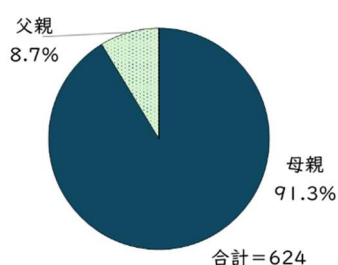
2 調査の結果概要

(1) 家族の状況など子どもをめぐる環境について

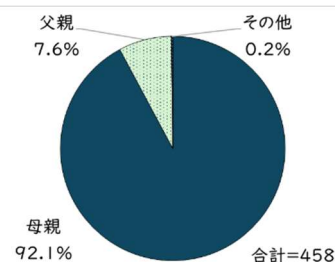
① アンケートの回答者

小学校就学前児童の保護者（以下、就学前という。）、小学生の保護者（以下、小学生という。）とともに、「母親」が大半を占めています。

就学前

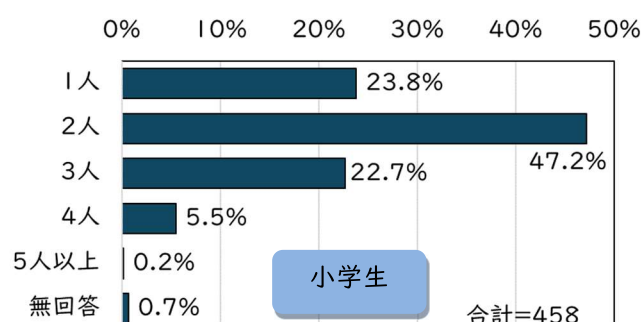
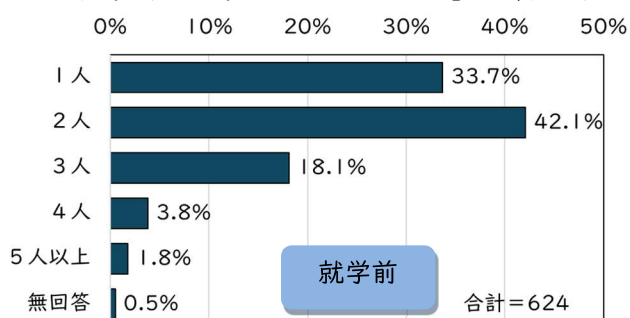


小学生



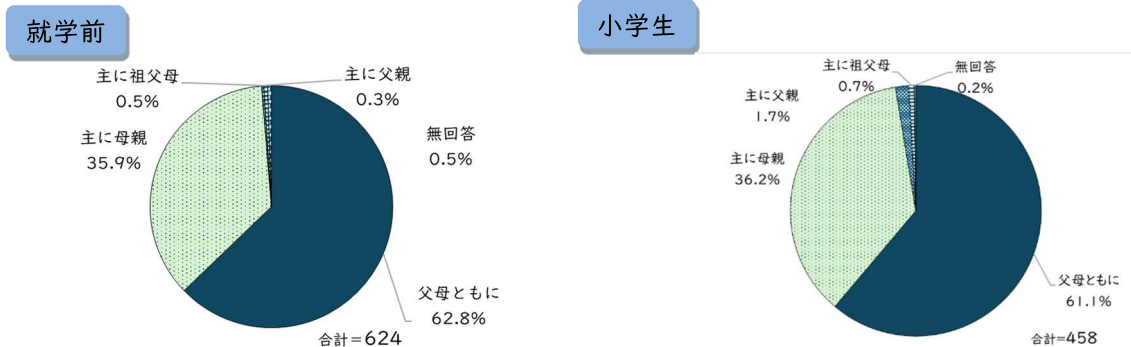
② こどもの人数

就学前、小学生ともに、「2人」が最も高くなっています。



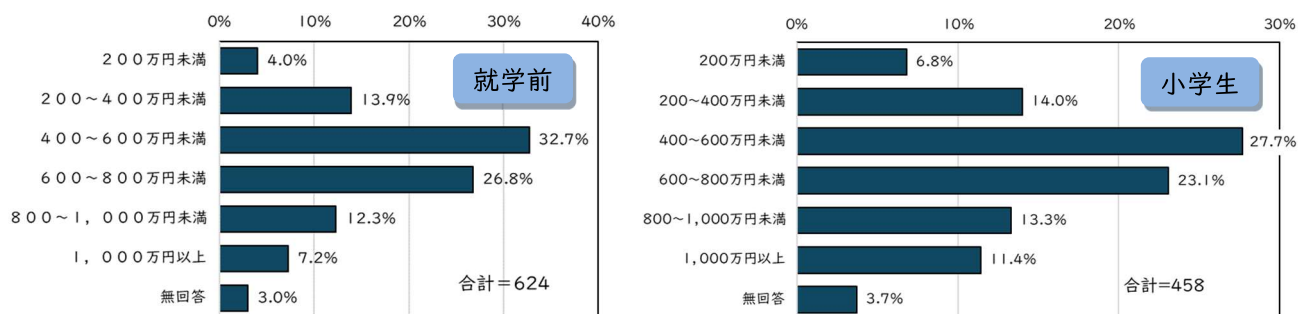
③主に子育て（教育を含む）をしている人

就学前、小学生ともに、「父母ともに」が6割以上と最も高く、次いで「主に母親」が3割程度となっています。



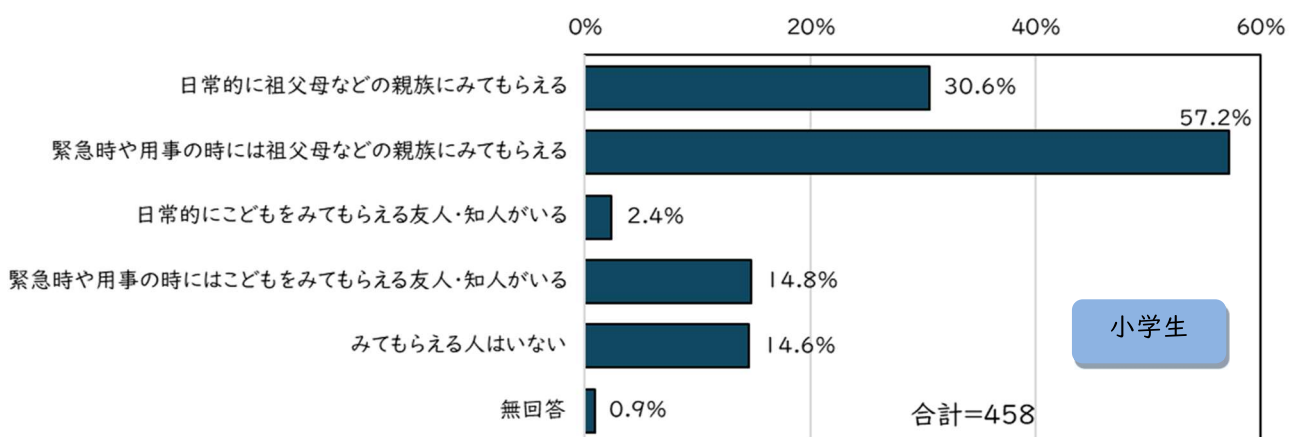
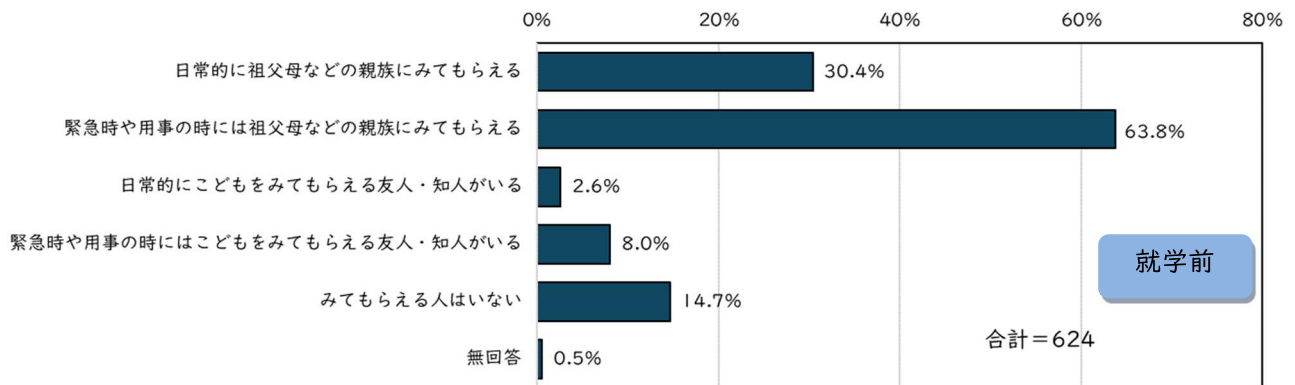
④世帯の年間収入

一年間の世帯収入については、「400～600万円未満」が約3割で最も高くなっています。次いで、「600～800万円未満」が2割程度で続いています。



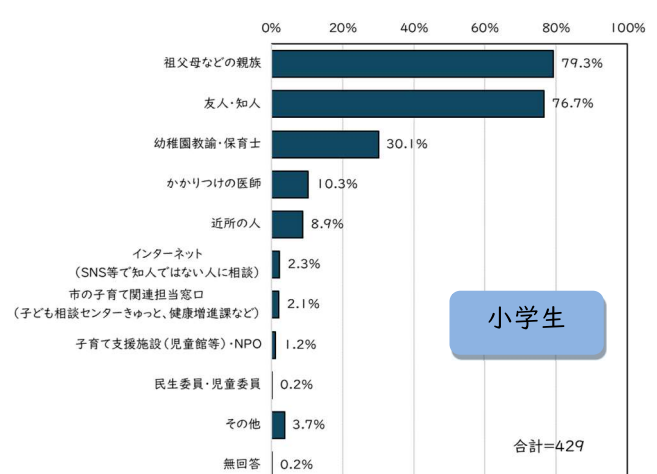
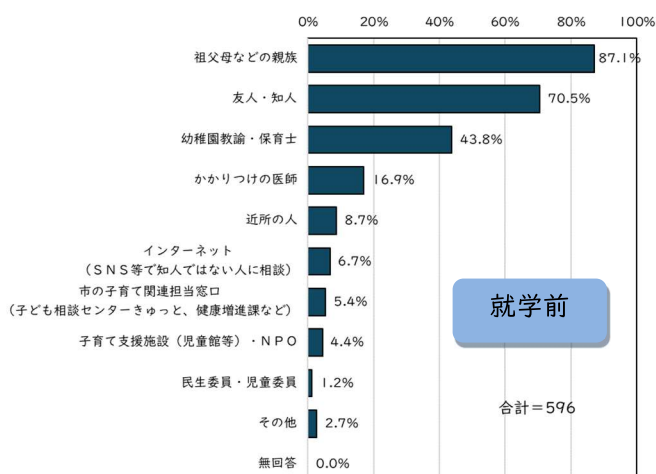
⑤日ごろ、こどもをみてもらえる人

就学前、小学生ともに、「緊急時や用事の時には祖父母などの親族にみてもらえる」が6割程度で最も高くなっています。次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が3割以上で続いています。



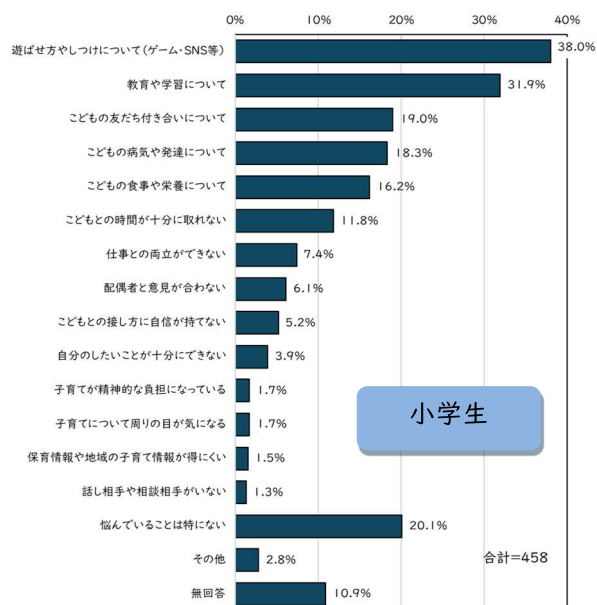
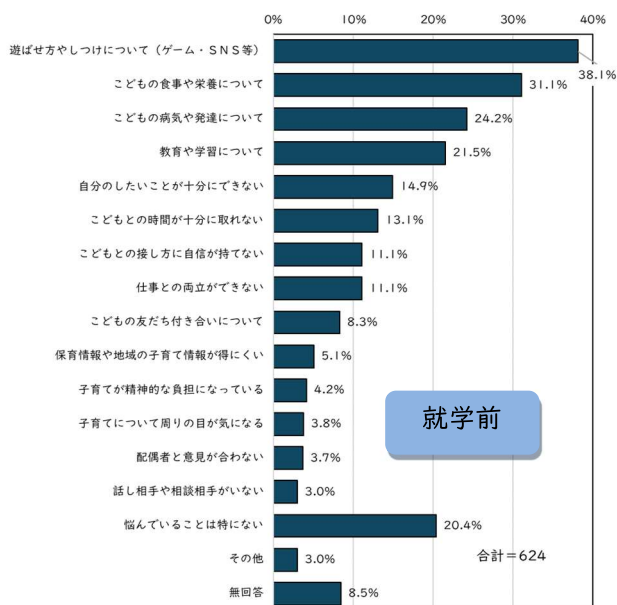
⑥子育ての相談先

就学前、小学生ともに、「祖父母などの親族」が8割程度と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が7割程度で続いています。



⑦子育てに関する悩み

就学前、小学生ともに、「遊ばせ方やしつけについて（ゲーム・SNS等）」が4割程度と最も高くなっています。

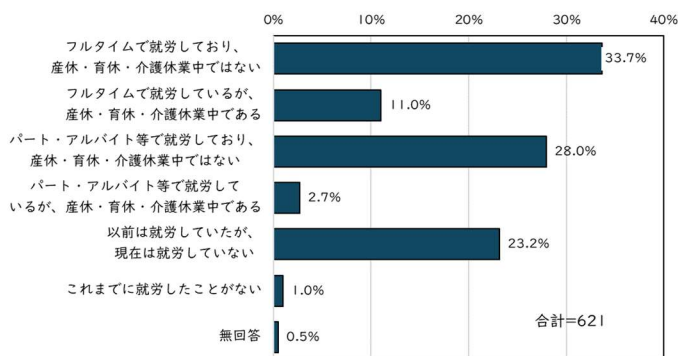


(2) 保護者の就労状況について

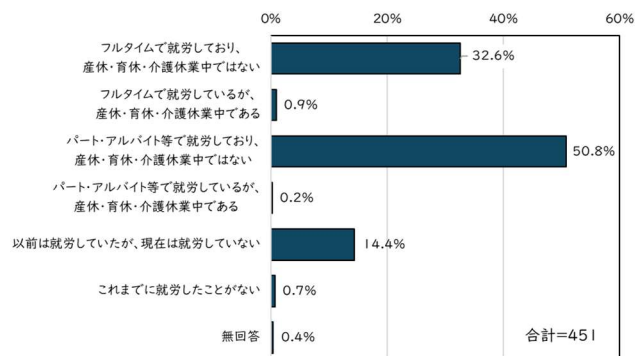
①現在の父母の就労状況

母親の就労状況は、就学前では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が33.7%で最も高くなっています。小学生では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が50.8%で最も高くなっています。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労している」がほとんどを占めています。(グラフ省略)



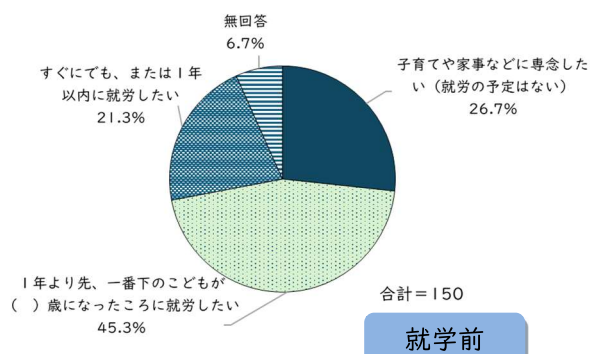
就学前(母親)



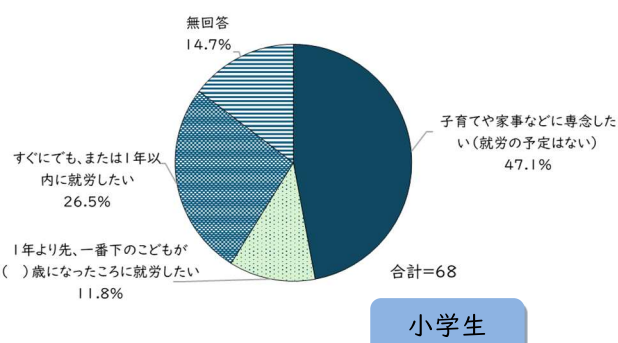
小学生(母親)

②母親の就労希望

現在就労していない母親について、就学前で半数以上が、小学生で約4割が、将来的な就労希望を持っています。

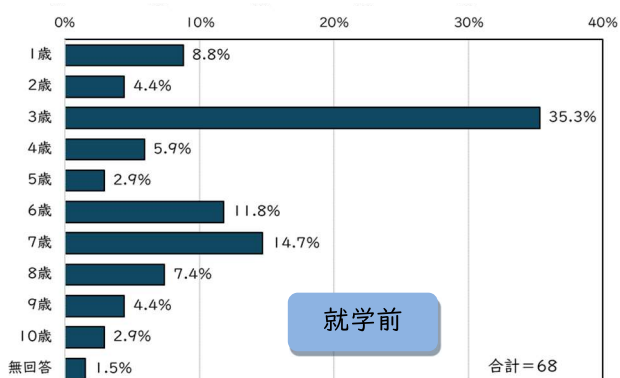


就学前

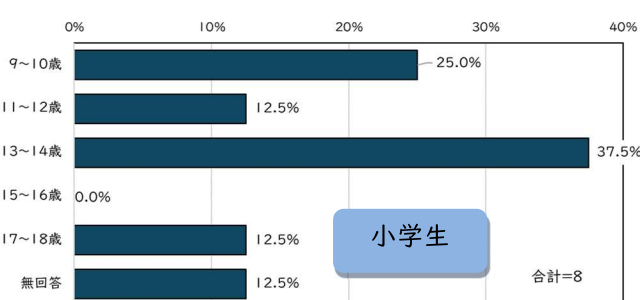


小学生

【1年より先の就労希望者が希望する時期(一番下のこどもの年齢)】



就学前

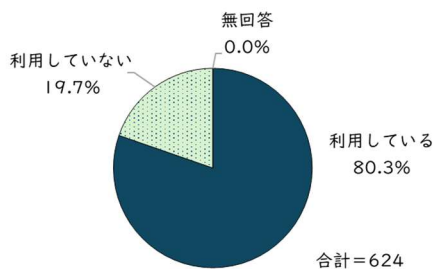


小学生

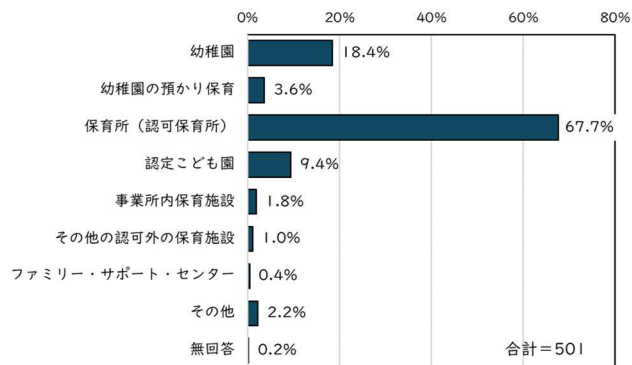
(3) 幼稚園や保育所などの利用について

①平日の定期的な利用状況（就学前のみの設問）

「利用している」が80.3%を占めています。
利用しているサービスは、「保育所（認可保育所）」が67.7%で最も高くなっています。



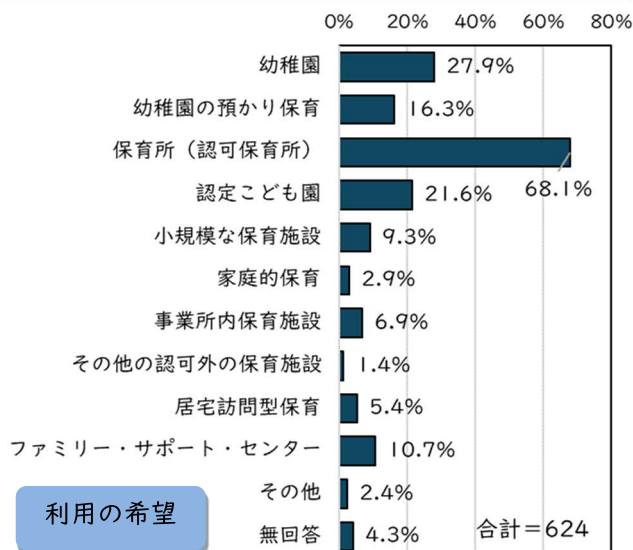
利用の有無



利用サービス

②平日の定期的な利用の希望（就学前のみの設問）

「保育所（認可保育所）」が68.1%で最も高くなっています。次いで「幼稚園」が27.9%と続いています。「保育所（認可保育所）」が最も高くなっていることから、長い時間での保育サービスに対する利用希望が多いことがうかがえます。



利用の希望

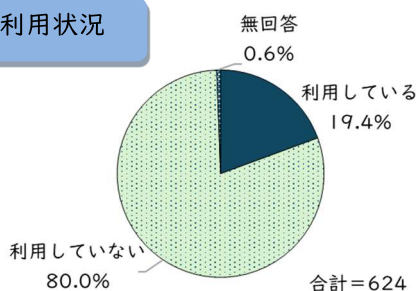
(4) 地域の子育て支援事業の利用について

①チャイベビステーションの利用状況と今後の希望（就学前のみの設問）

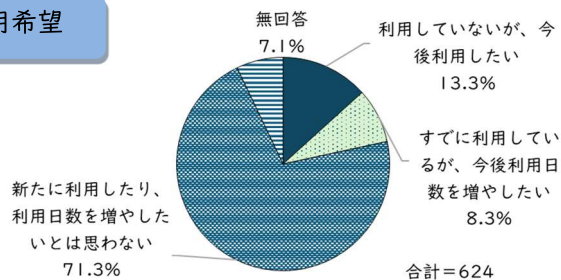
現在は、「利用していない」が80.0%を占めています。

今後は、「利用していないが、今後利用したい」が13.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が8.3%となっています。

利用状況



利用希望

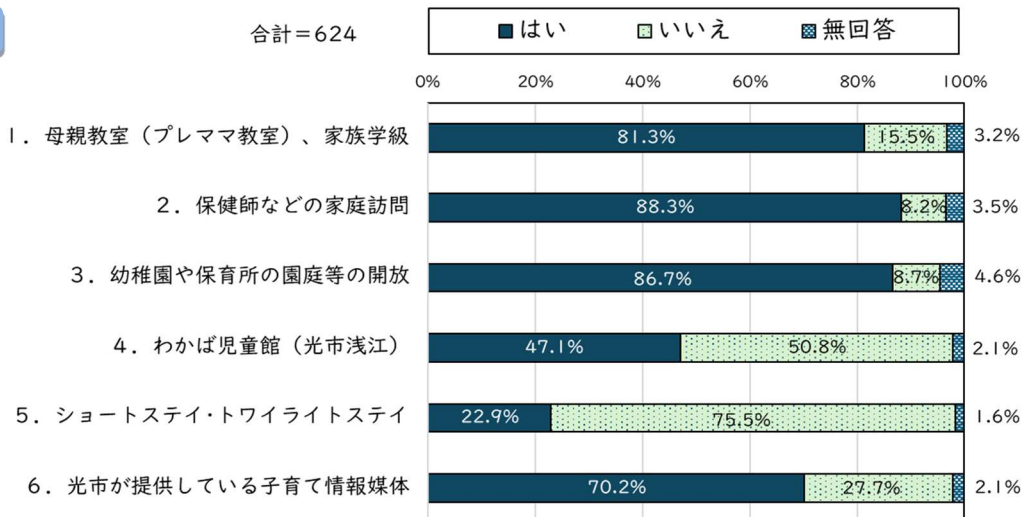


②その他の事業の利用状況と今後の利用意向（就学前のみの設問）

各事業の認知度、利用状況、今後の利用意向は下記のとおりです。

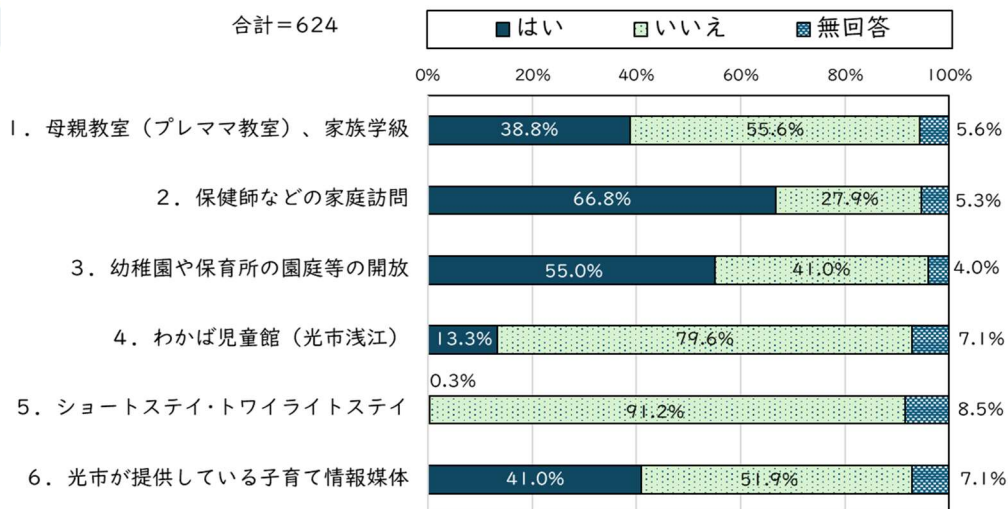
認知度

合計=624



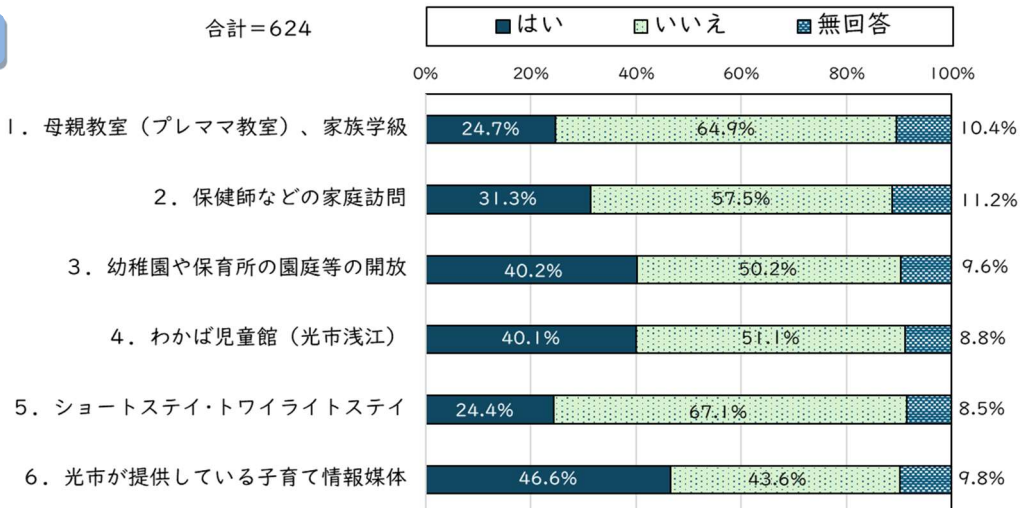
利用状況

合計=624



今後の利用意向

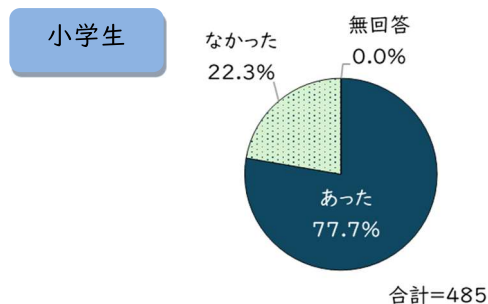
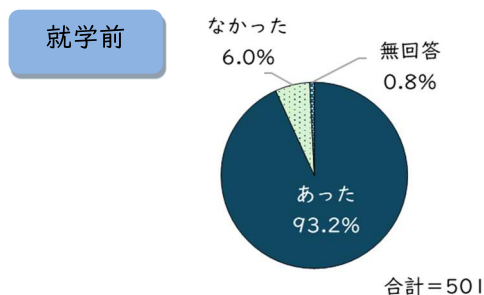
合計=624



(5) こどもが病気の際の対応について

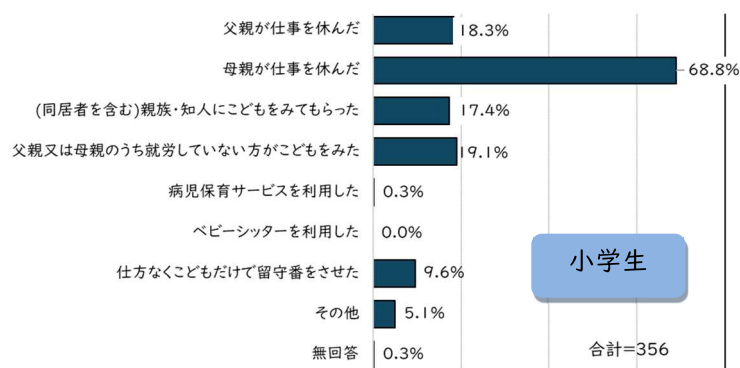
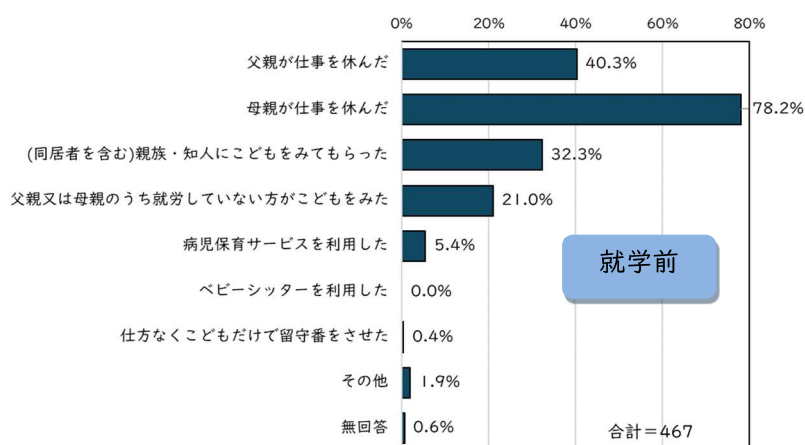
①病気やケガで幼稚園、保育所や小学校を休んだこと（この１年間）

就学前は、「あった」が93.2%を占めており、小学生は、「あった」が77.7%を占めています。



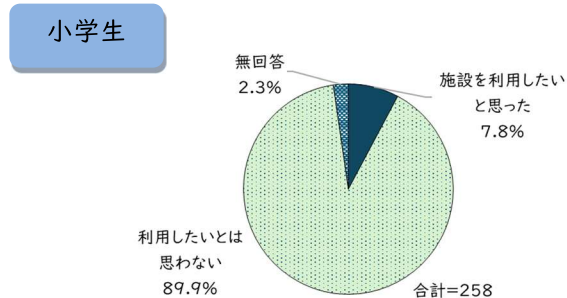
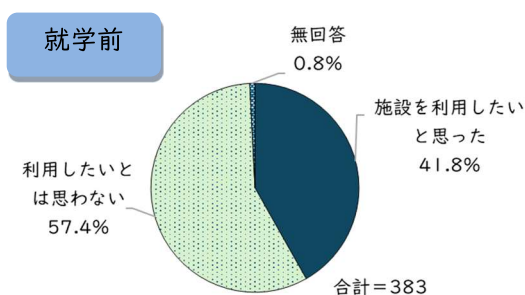
②幼稚園、保育所や小学校を休んだときの対応（この１年間）

就学前、小学生ともに「母親が仕事を休んだ」が最も高く、就学前で約８割、小学生で約７割を占めています。



③病児保育施設の利用希望

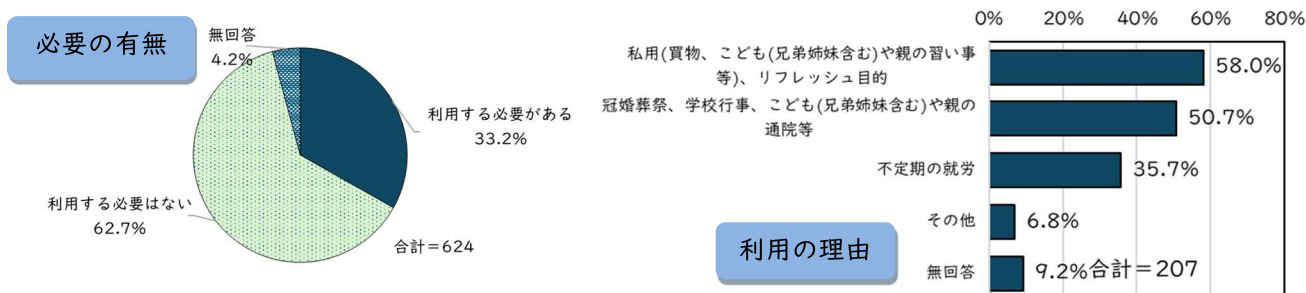
就学前では、「利用したい」が41.8%、小学生では7.8%でした。



(6) 一時預かりなどの利用について

①子どもを一時的にみてもらう事業の利用必要性（就学前のみの設問）

「利用する必要がある」は、33.2%となっています。利用する理由は、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が58.0%で最も高くなっており、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹含む)や親の通院等」が50.7%となっています。

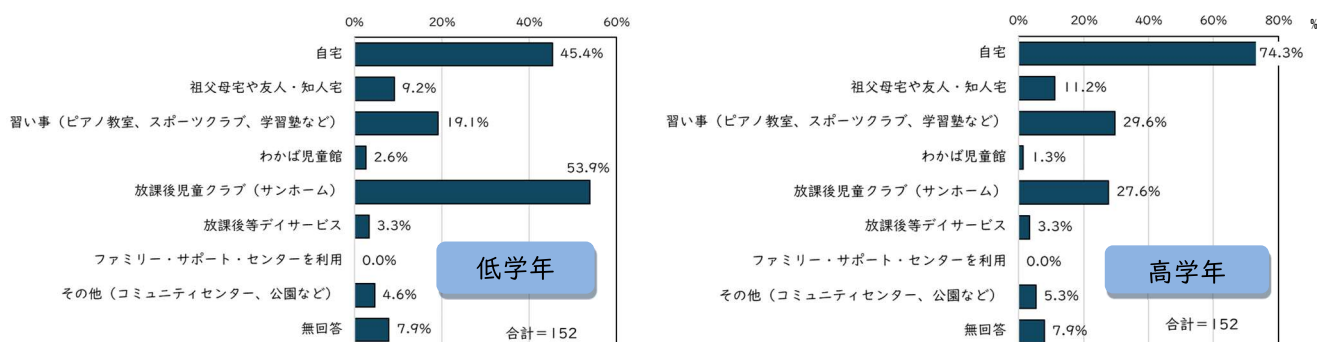


(7) 小学校の放課後の過ごし方について

①どのような場所で過ごさせたいか（就学前の保護者の場合）

小学校低学年（1～3年生）の間の過ごさせ方では、「放課後児童クラブ（サンホーム）」が53.9%で最も高くなっており、「自宅」が45.4%が続いています。

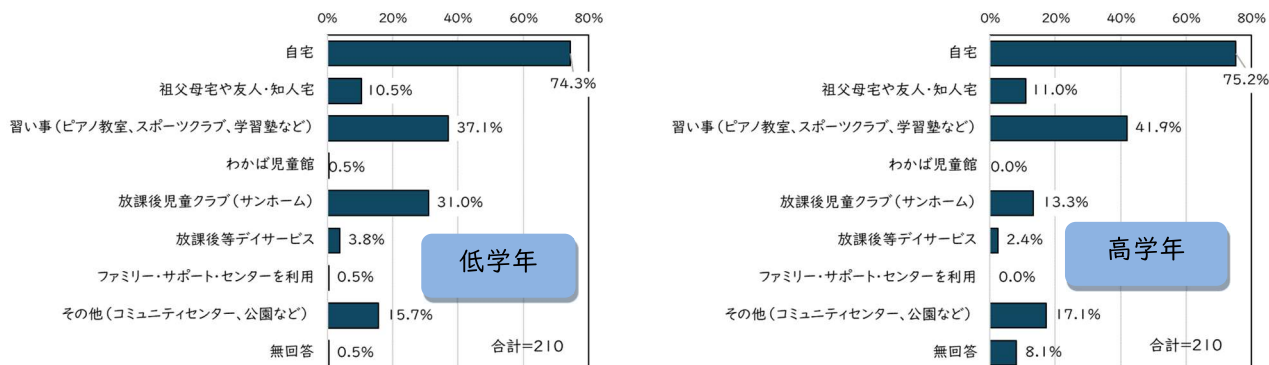
小学校高学年（4～6年生）の間の過ごさせ方では、「自宅」が74.3%で突出しています。「放課後児童クラブ（サンホーム）」は27.6%となっています。



②どのような場所で過ごさせたいか（小学生低学年の保護者の場合）

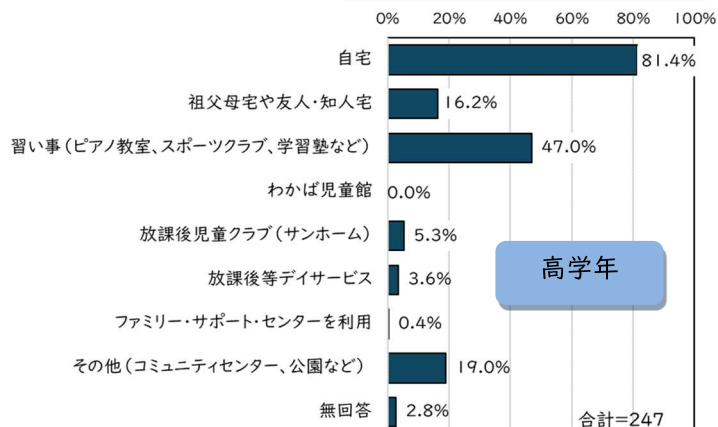
小学校低学年（1～3年生）の間の過ごさせ方では、「自宅」が74.3%で最も高くなっています。「放課後児童クラブ（サンホーム）」は31.0%となっています。

小学校高学年（4～6年生）の間の過ごさせ方では、「自宅」が75.2%で最も高くなっています。「放課後児童クラブ（サンホーム）」は13.3%となっています。



③どのような場所で過ごさせたいか（小学生高学年の保護者の場合）

小学校高学年（４～６年生）の間の
過ごさせ方では、「自宅」が81.4%で
最も高くなっています。
「放課後児童クラブ（サンホーム）」
は5.3%となっています。



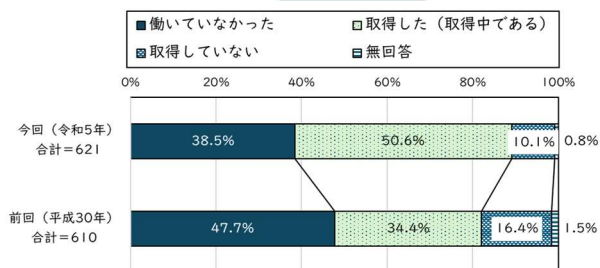
（８）育児休業制度について

①育児休業制度を利用したか

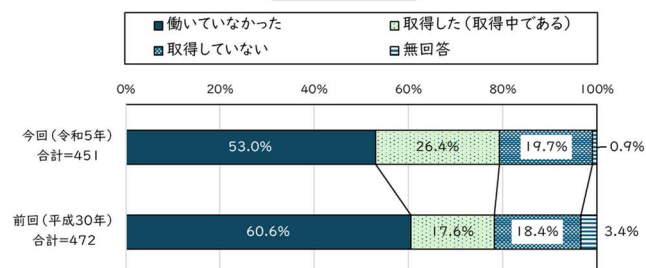
就学前の育児休業を取得した割合は、母親で50.6%、父親で11.9%となっており、前回調査より母親、父親ともに取得率が高くなっています。

【母親】

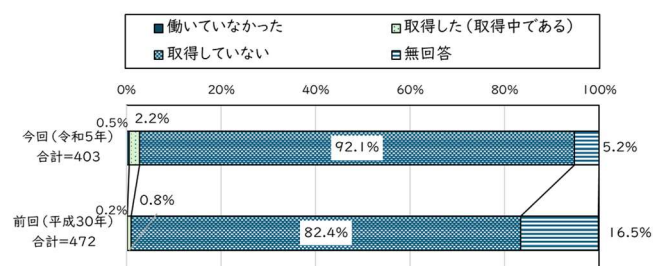
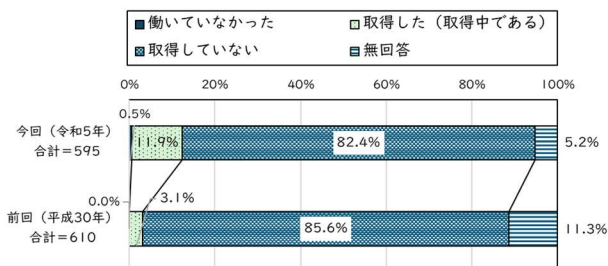
就学前



小学生



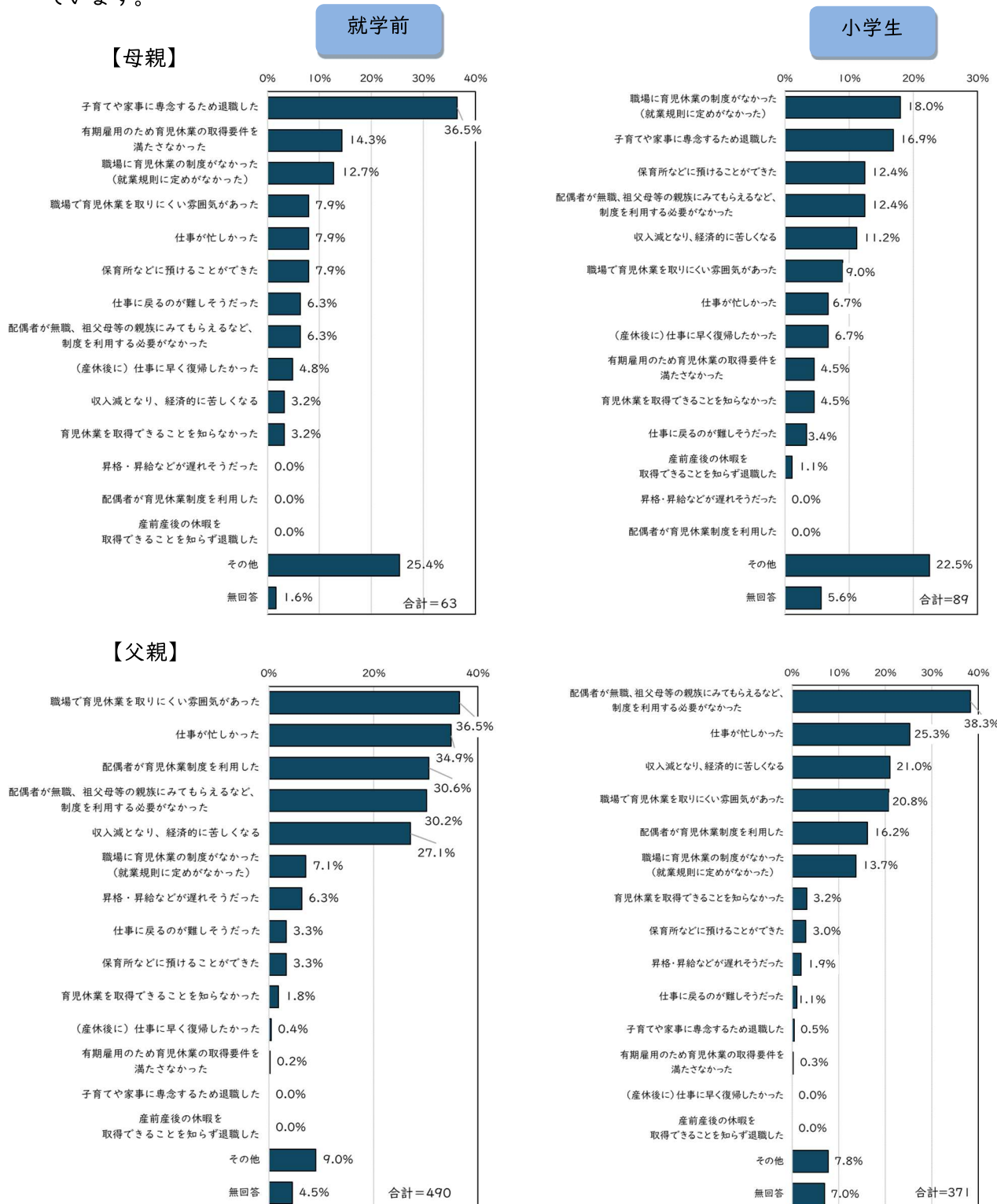
【父親】



②育児休業制度を利用しなかった理由

就学前の母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が、小学生の母親では「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が最も高くなっています。

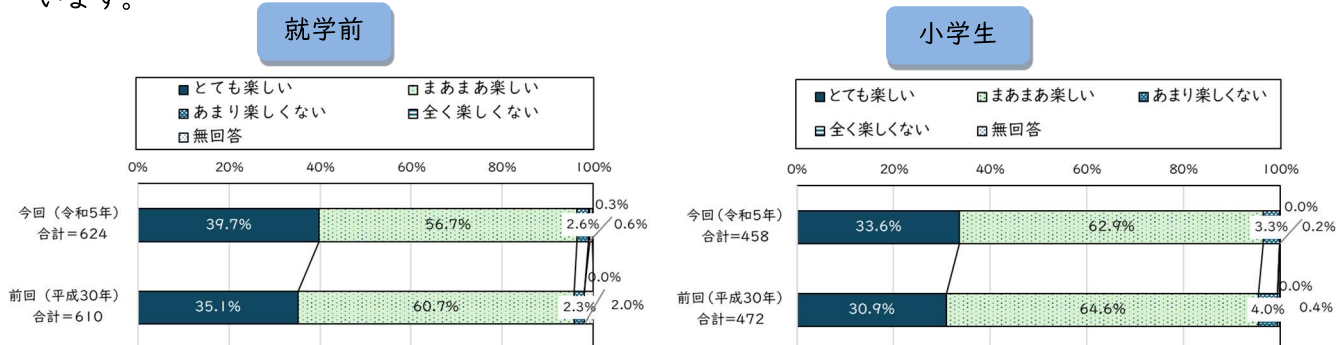
また、就学前の父親では「職場で育児休業を取りにくい雰囲気があった」が、小学生の父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が最も高くなっています。



(9) 日常の子育てなどについて

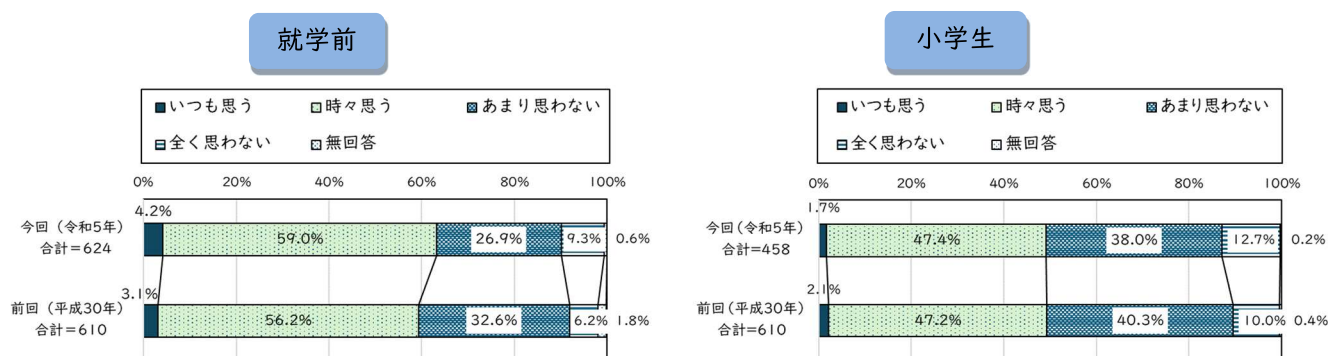
① 子育ては楽しいか

就学前、小学生とも、「とても楽しい」または「まあまあ楽しい」と回答した割合が9割を超えています。



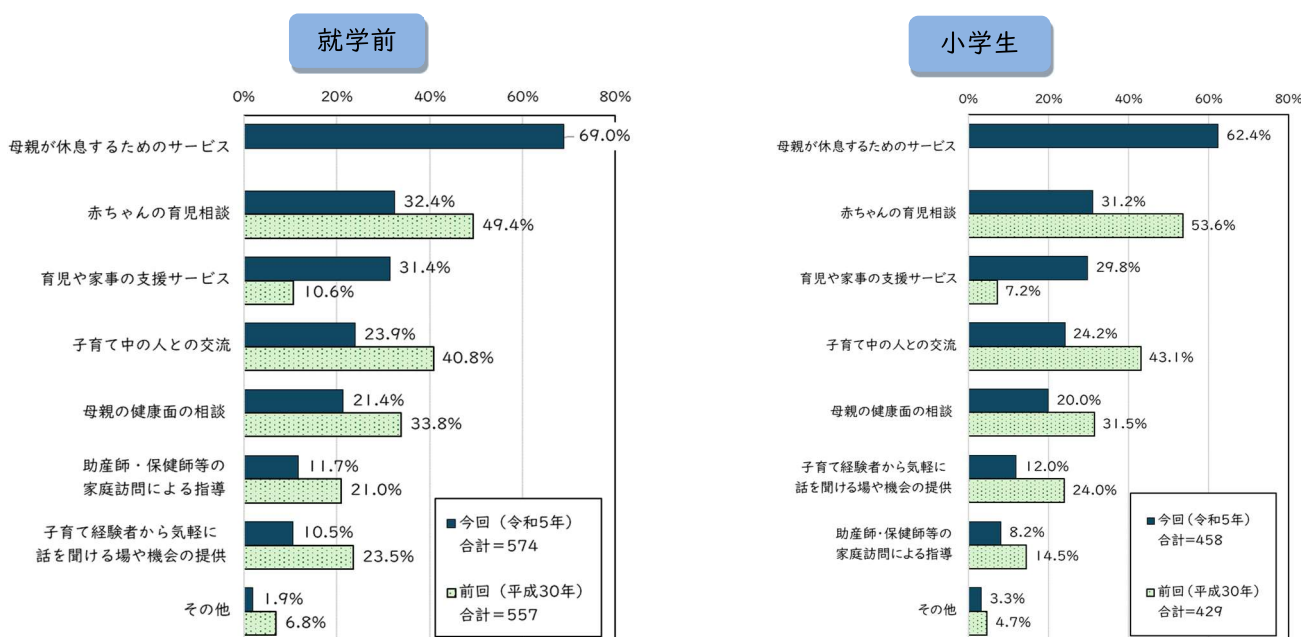
② 子育てが辛いと思うこと

就学前は、「いつも思う」または「時々思う」と回答した割合が6割を超えています。



③ 妊娠中や出産後のサポートとして重要だと思うサービス（女性のみの設問）

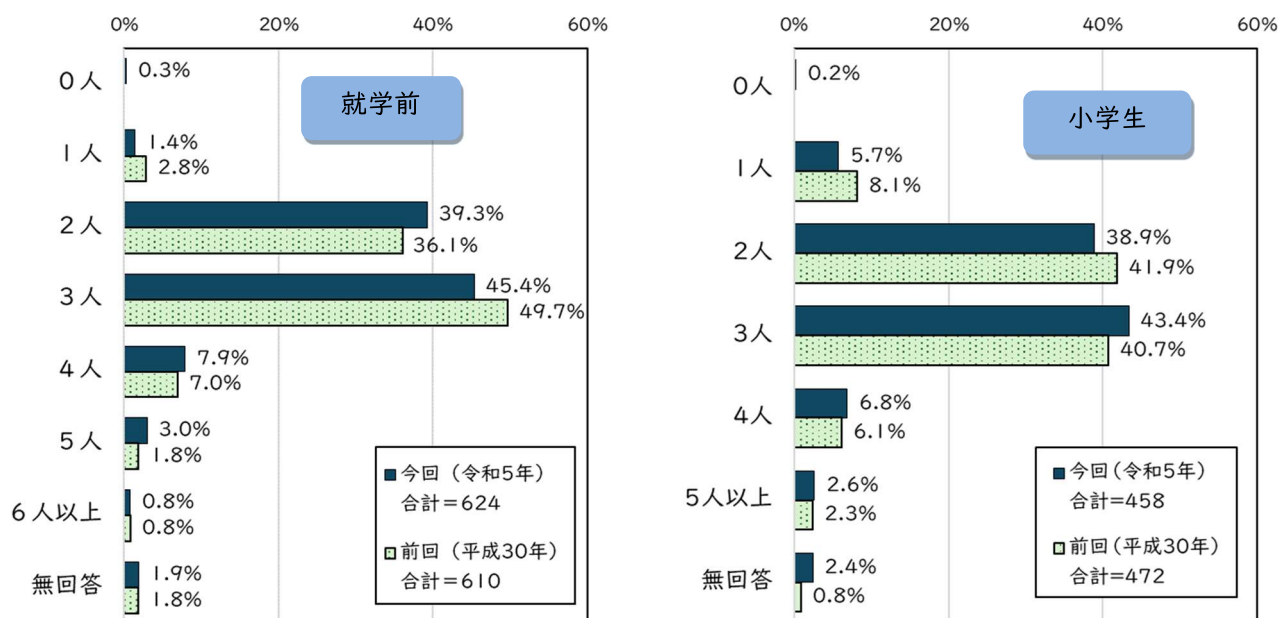
「母親が休息するためのサービス」が最も高く、次いで「赤ちゃんの育児相談」となっています。



(10) こどもを何人育てたいかについて

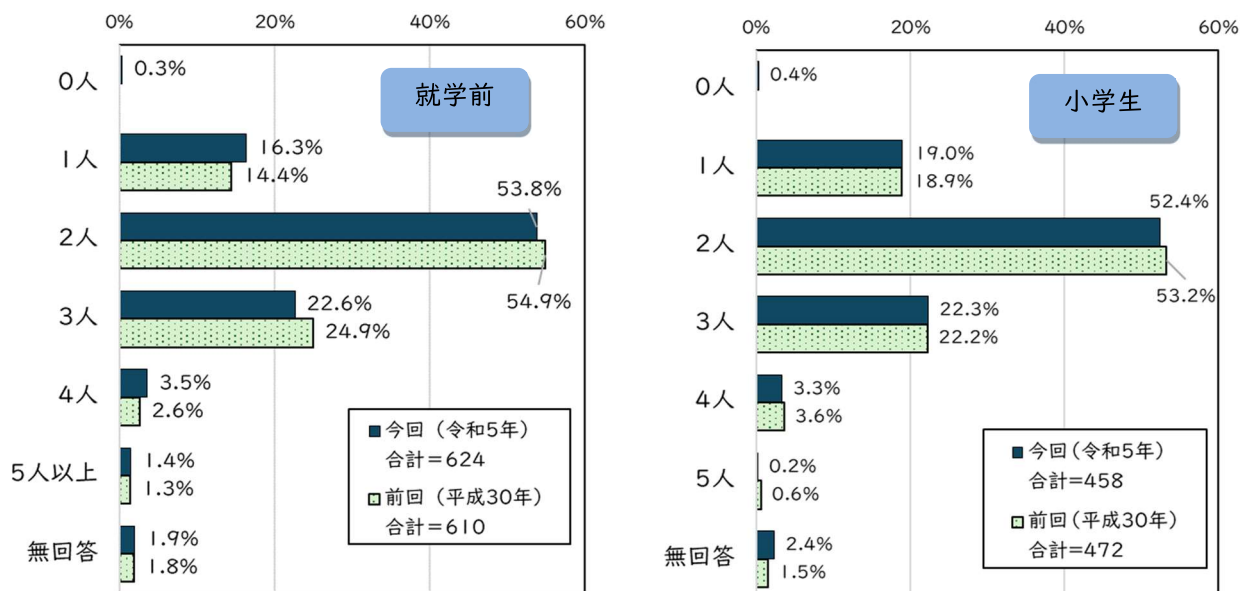
①何人育てたいか（理想）

就学前、小学生ともに「3人」が最も高く、次いで「2人」となっています。



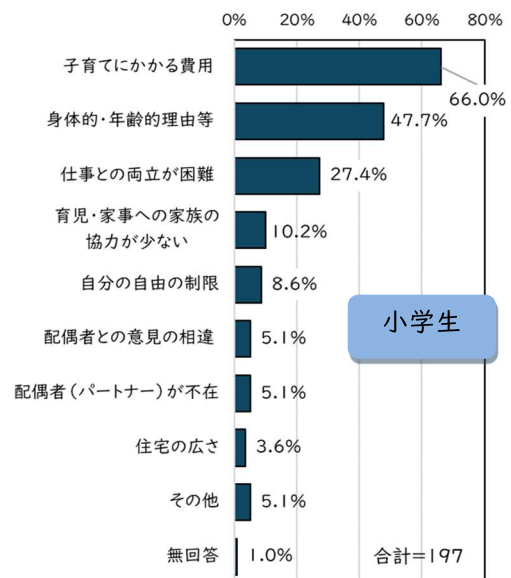
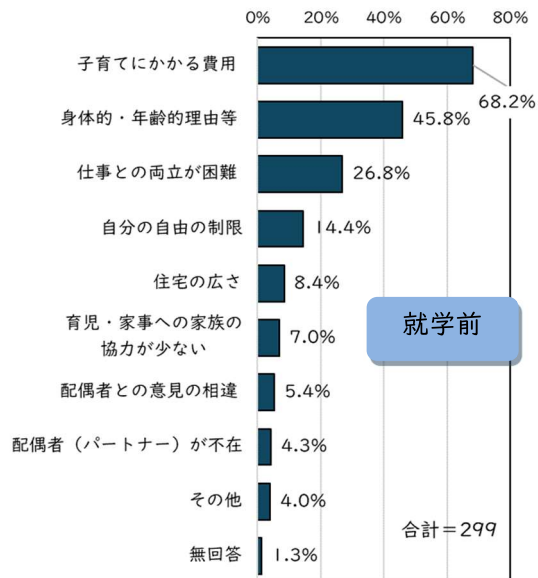
②何人育てることができるか（現実）

就学前、小学生とも、①の何人育てたいか（理想）の回答と比べ「3人」の割合が下がり、「2人」と「1人」の割合が増えています。



③理想の人数を育てることができない理由

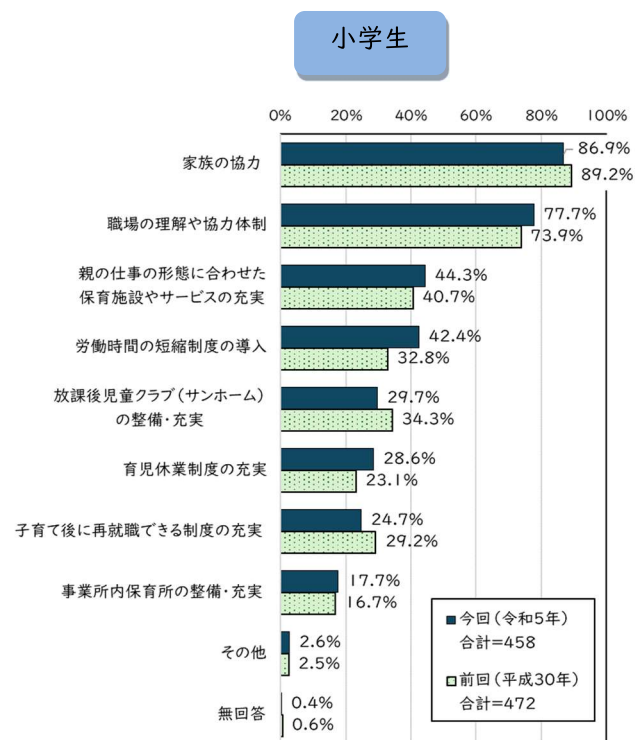
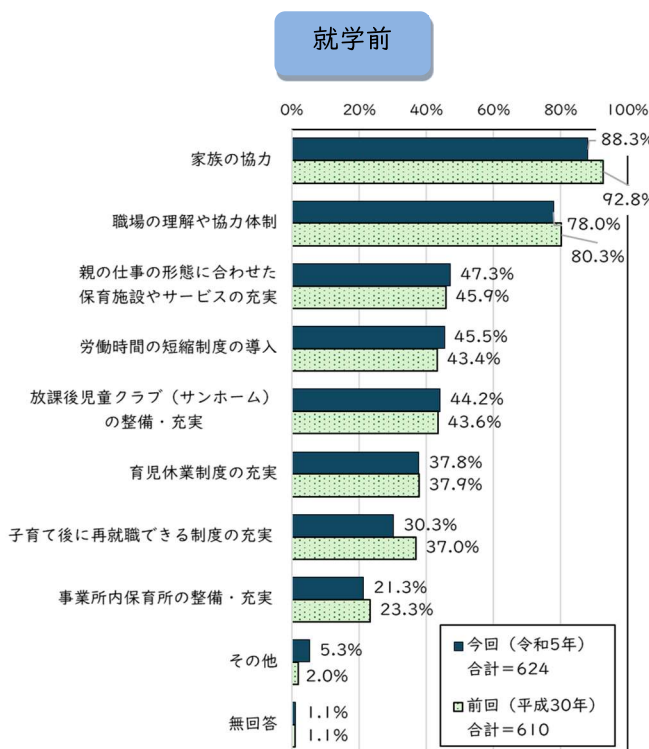
就学前、小学生とも「子育てにかかる費用」が最も高く、次いで「身体的・年齢的理由等」となっています。



(11) 仕事と子育ての両立について

①仕事と子育ての両立に必要なこと

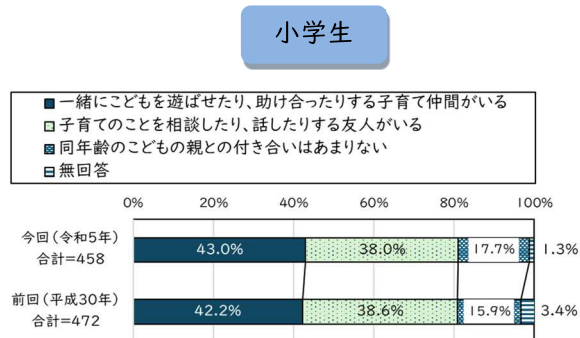
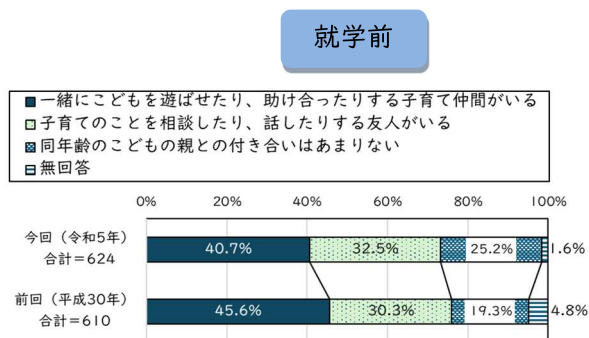
就学前、小学生とも「家族の協力」が最も高く、次いで「職場の理解や協力体制」となっています。



(12) 地域での子育てなどについて

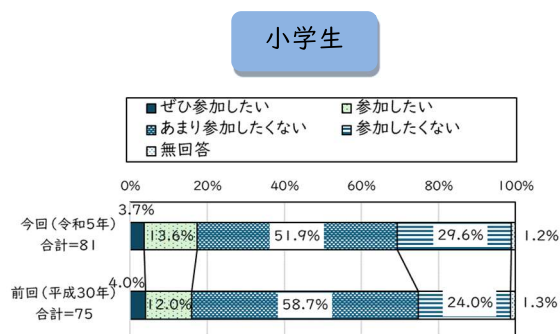
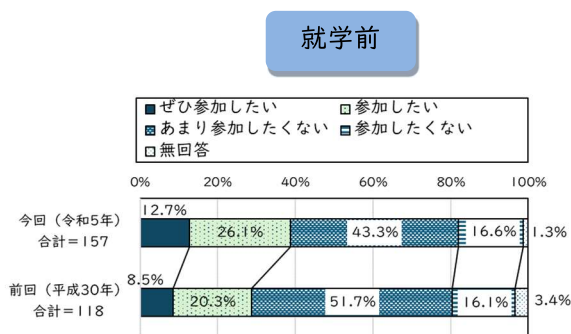
① 子育ての仲間について

「一緒にこどもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」または「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」と回答した割合は、就学前で 73.2%、小学生で 81.0%あります。



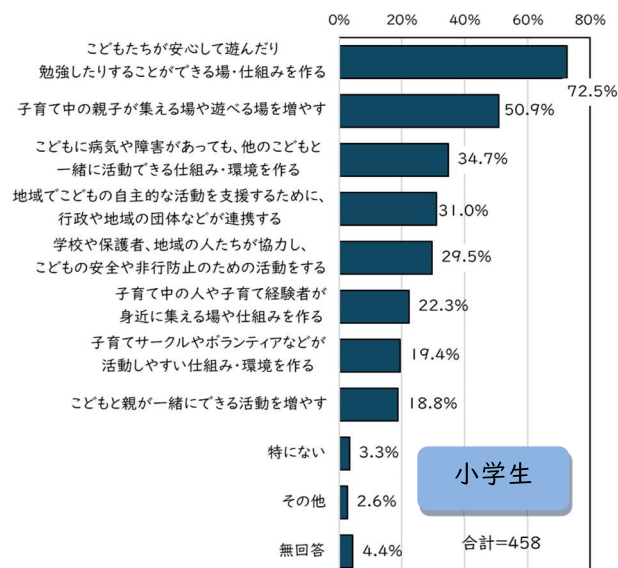
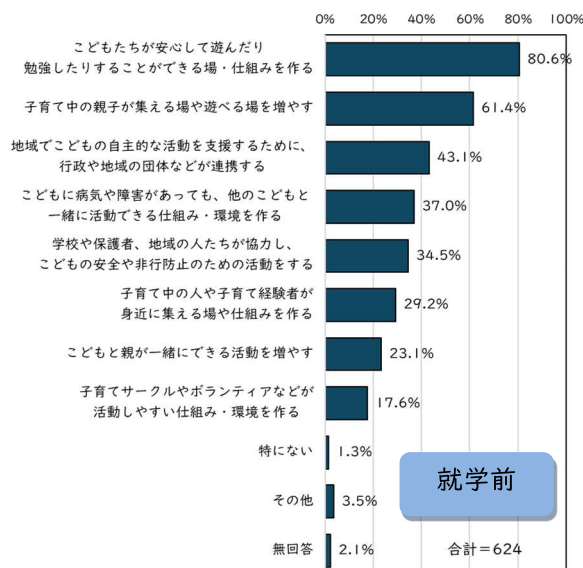
② 子育ての仲間作りの機会があれば参加したいか（付き合いはあまりないと答えた方だけの設問）

就学前、小学生ともに「あまり参加したくない」の割合が高くなっています。



③ 安心して子育てするための地域での取り組み

就学前、小学生とも「こどもたちが安心して遊んだり勉強したりすることができる場・仕組みを作る」が最も高く、次いで「子育て中の親子が集える場や遊べる場を増やす」となっています。

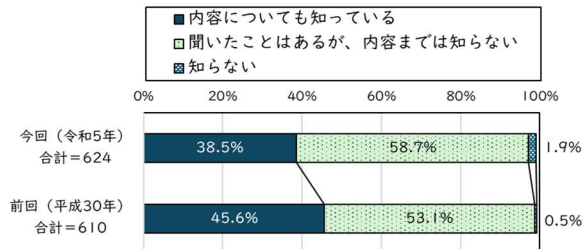


(13) おっぱい都市宣言について

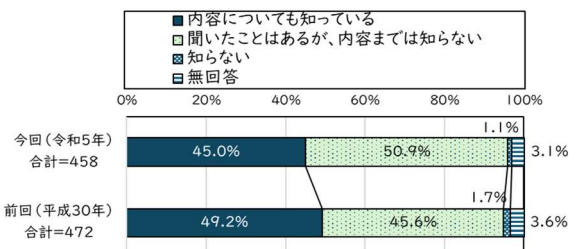
①認知度

就学前、小学生ともに「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が最も高くなっています。

就学前



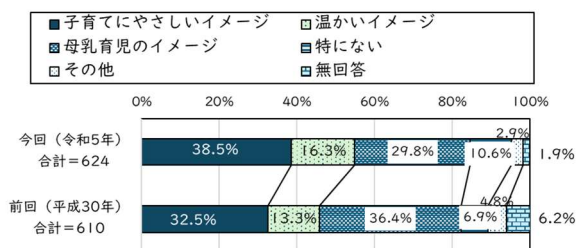
小学生



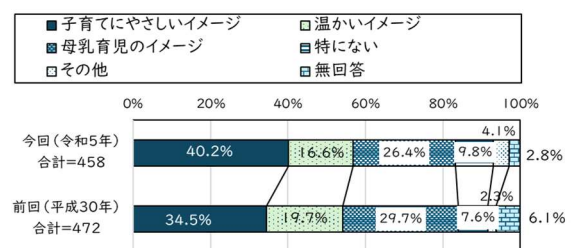
②イメージ

就学前、小学生ともに「子育てにやさしいイメージ」が最も高くなっています。

就学前



小学生



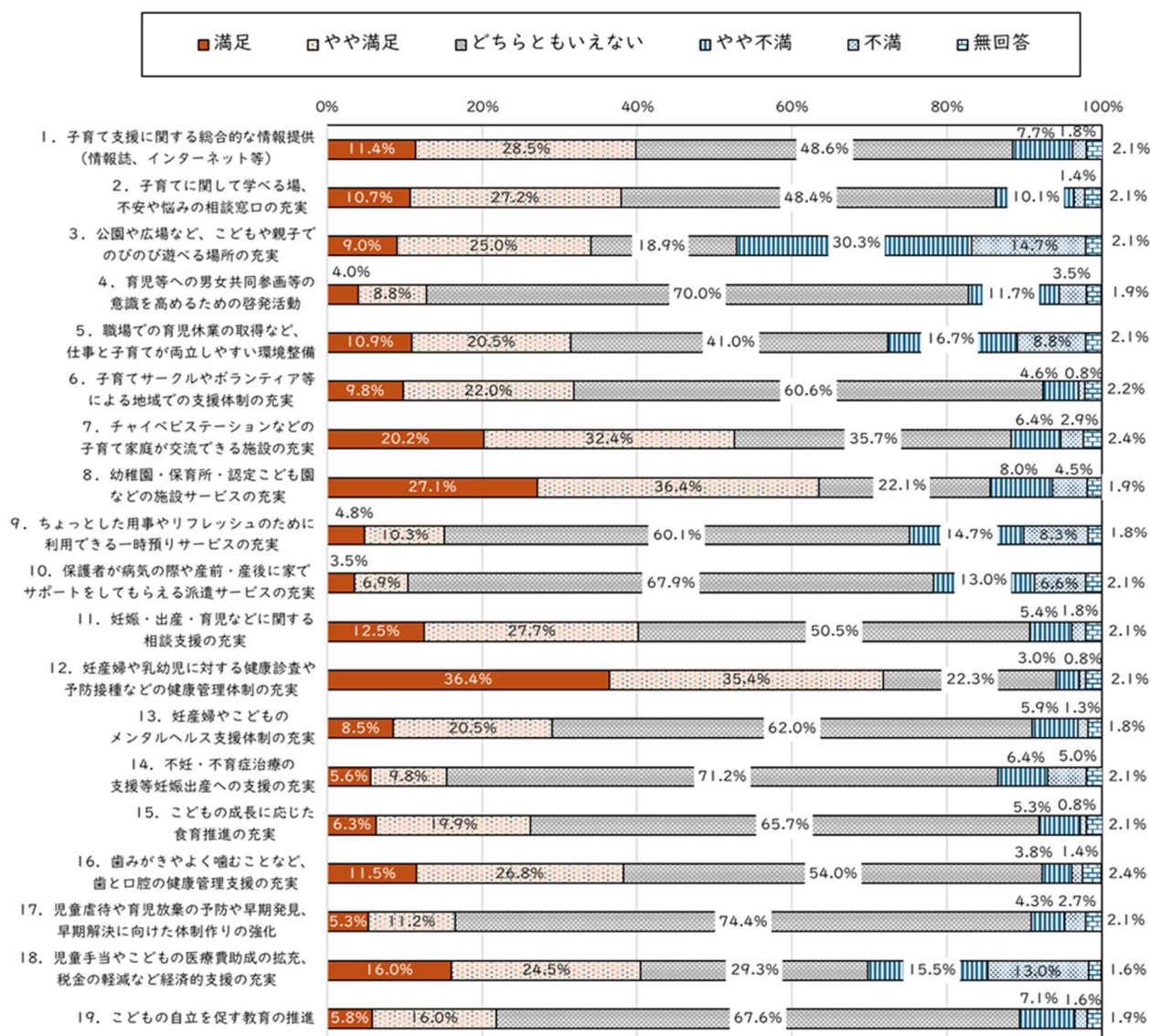
(14) 行政や地域の子育て支援について

①19項目の取組みに対する満足度

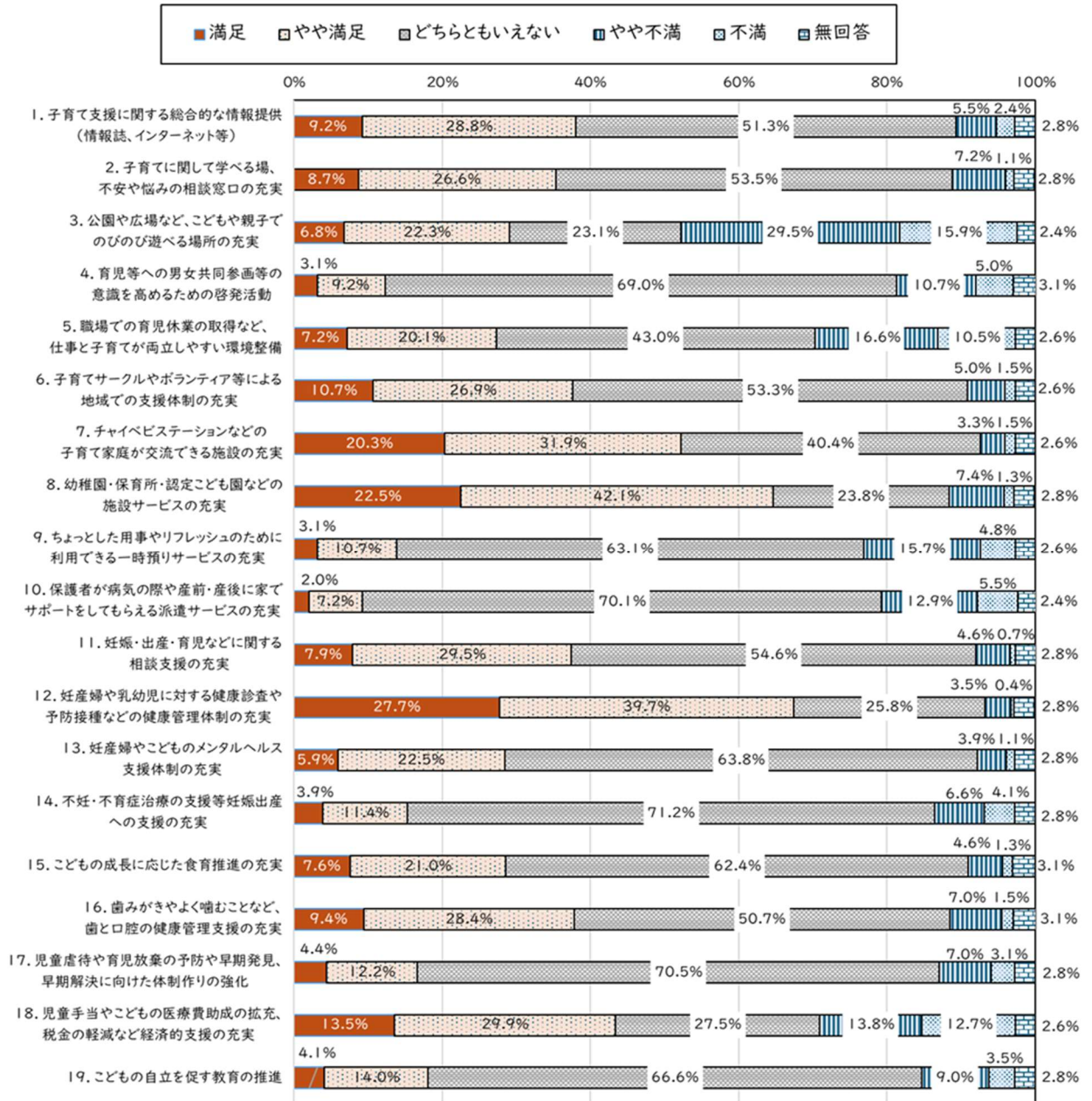
満足度が高かったのは「12. 妊産婦や乳幼児に対する健康診査や予防接種などの健康管理体制の充実」、「8. 幼稚園・保育所・認定こども園などの施設サービスの充実」、「7. チャイベビステーションなどの子育て家庭が交流できる施設の充実」となっています。

一方、「3. 公園や広場など、こどもや親子でのびのび遊べる場所の充実」や「18. 児童手当やこどもの医療費助成の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実」は不満を感じている方が一定数いることがわかります。

就学前



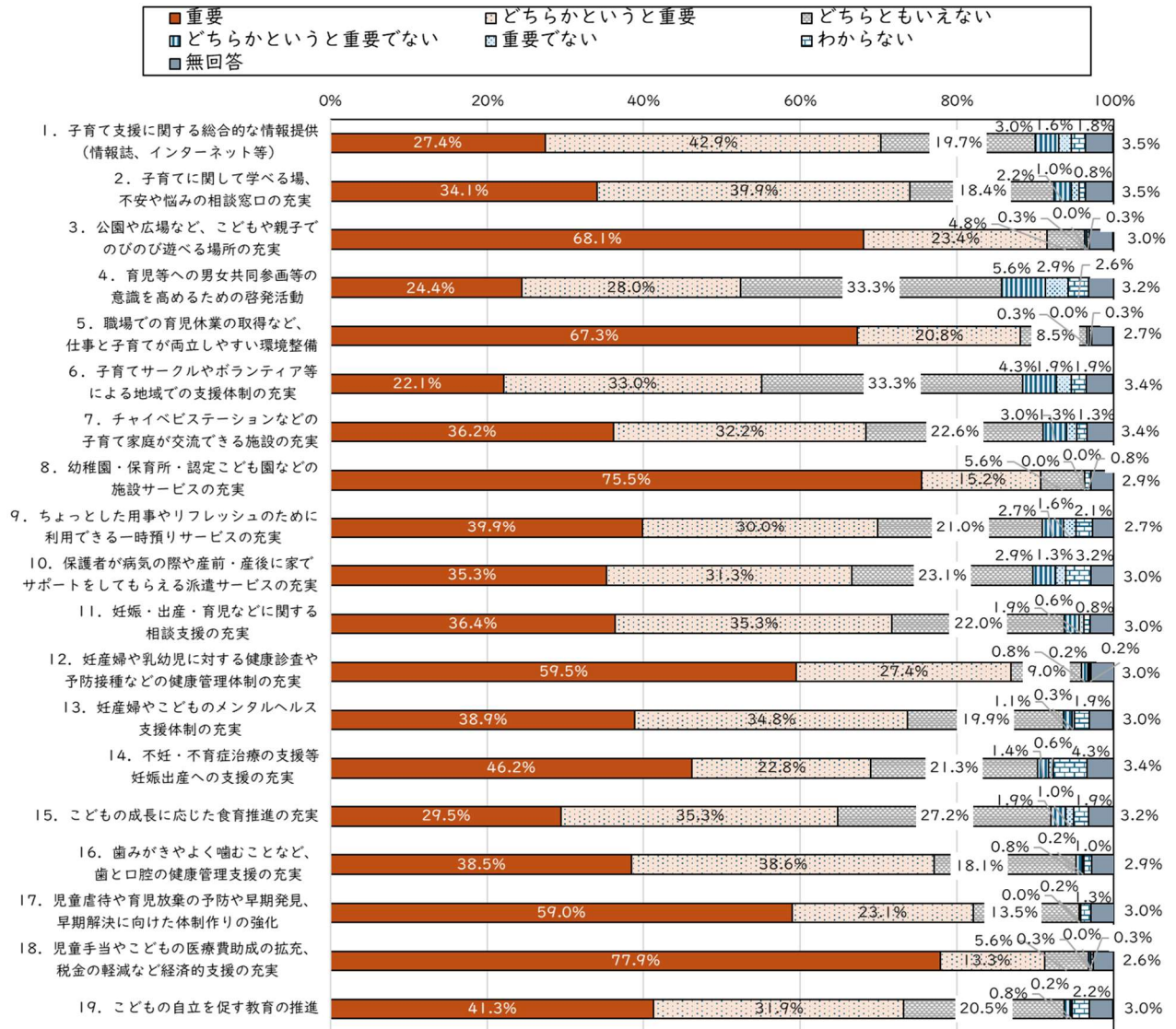
小学生



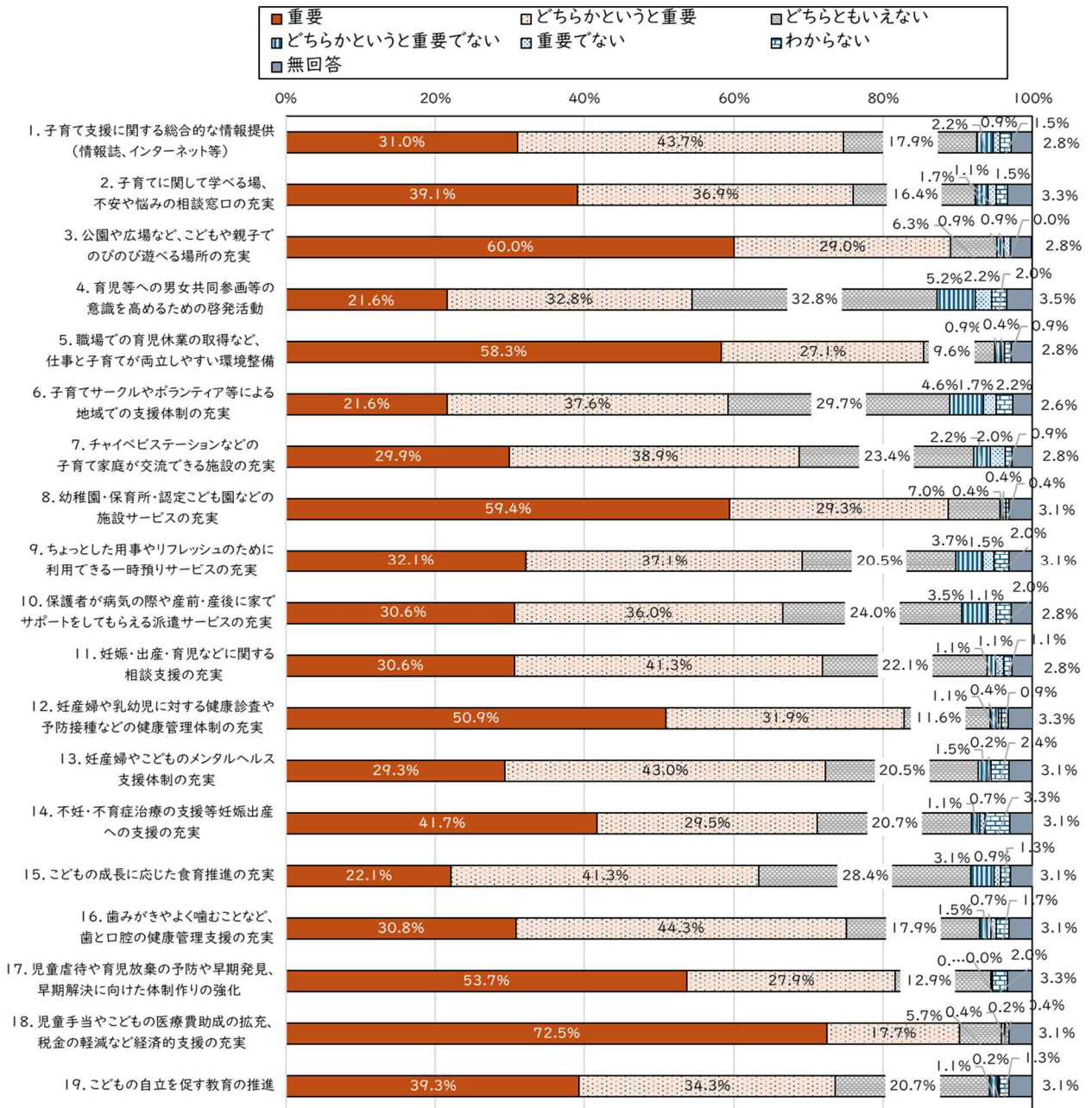
②19 項目の取組みの重要度

重要度が高かったのは、「3. 公園や広場など、こどもや親子でのびのび遊べる場所の充実」、「18. 児童手当やこどもの医療費助成の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実」、「8. 幼稚園・保育所・認定こども園などの施設サービスの充実」となっています。

就学前

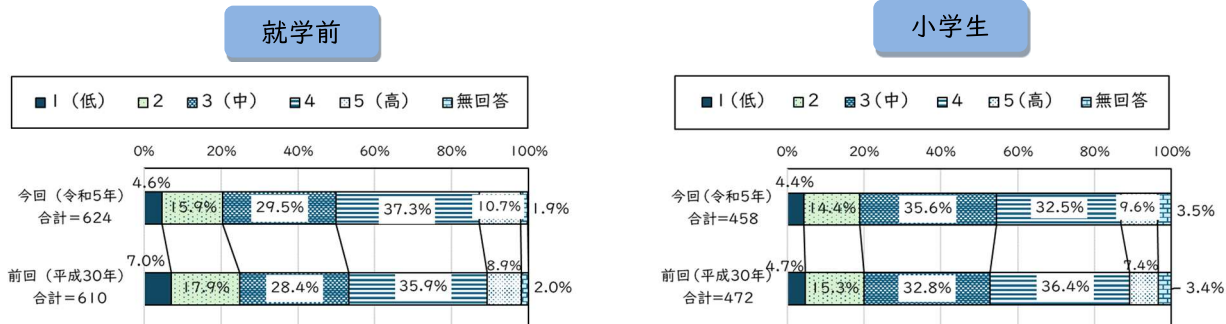


小学生



③光市の子育ての環境や支援への満足度

前回調査に比べ、就学前では4、5の割合が3.2ポイント高くなっていますが、小学生では4、5の割合が1.7ポイント低くなっています。



④自由記入欄（主なもの）

就学前

【医療費等の助成に関すること：10 件】

- ・子ども医療費の助成対象を高校生まで拡大してほしい。
- ・医療費がかからないのでとても助かっている。 など

【公園・遊び場に関すること：112 件】

- ・遊具がたくさんある公園を作してほしい。
- ・こどもが遊ぶことができる施設を増やしてほしい。
- ・公園をよく利用するが遊具が古かったり、ほとんどない場所が多い。室内で遊べる場所も必要だと思うが、外で遊べる所が少ない。
- ・のびのびと遊べる公園が少なすぎる。こどもたちが自由に遊べる場所が増えるといいと思う。
- ・地域ごとにこどもや子育て中の親が遊べたり集えたりする場所が増えるとよい。
- ・大規模なこどもの遊び場、公園などが欲しい。
- ・冠山総合公園は坂になっていて小さいこどもが遊べない。
- ・気軽に、1時間単位であずけられる未就園児用の施設があるとよい。 など

【教育に関すること：12 件】

- ・今後、校区の統合などが進んでいくものと思うが、遠方の児童の切り捨てにならないよう、環境整備をしっかりとしてほしい。
- ・発達障がいに関する環境・支援がもっと広がるとよい。
- ・小学校入学時にサポート体制や、学校と家との情報共有をしたりできる仕組みがあればよい。 など

【サンホームに関すること：9 件】

- ・ 長期休暇中の開所時間を早めてほしい。
- ・ サンホームの時間を延長してほしい。 など

【保育所等に関すること：76 件】

- ・ 保育所の定員を増やして欲しい。
- ・ 気軽に一時保育など利用できるように市のホームページをわかりやすいようにして欲しい。
- ・ 病児保育ができる施設をつくってほしい。
- ・ 保育料の負担をもう少し減らして欲しい。
- ・ 認定こども園を増やしてほしい。
- ・ 病児保育、一時預り、祝日や年末年始の仕事で預かってもらえる場がほしい。
- ・ 一時預りの料金が高すぎて、使いにくい。
- ・ 保育園に入りたい時期に入れない。

【その他：86 件】

- ・ 子育て世帯へ児童手当等のサポート、国や県や市がもう少し苦しい人の為に見直しをしっかりとしてほしい。
- ・ 給食費の無償化をしてほしい。
- ・ インフルエンザなど、予防接種の助成をしてほしい。
- ・ こども達が気軽に参加しやすい、試しやすい仕組みのスポーツや文化教室が充実するとよい。
- ・ 歩道に段差があり、ベビーカーが押しづらい。
- ・ 父親の育児参加を進めてほしい。
- ・ 初めての子育てで、保健師の方が定期的に訪問してくださり、話をする機会がもてて安心できた。
- ・ 母親のメンタルサポートを重視し、母親の気持ち、体調を重視する相談窓口を作してほしい。
- ・ こどもと少しでも離れてリフレッシュできる環境を作してほしい。
- ・ 保育園の先生、学校の先生の負担が少しでも軽くなるようにしてほしい。
- ・ 光市は自然ゆたかで、子育て環境もよく、安心して子育てすることができます。
- ・ こどもを育てるのに必要な物（例：ミルク等）の配布などあったら助かる。
- ・ 多子世帯に対する支援がもっと充実したらよい。 など

小学生

【医療費等の助成に関すること：23 件】

- ・ 子ども医療費の助成対象を高校生まで拡大してほしい。
- ・ 中学生まで対象で助かっている。できれば高校生まで拡充してほしい。 など

【公園・遊び場に関すること：52 件】

- ・子どもが安全に集まり、遊びやすい場所があると外に出やすいし交流しやすい。
- ・遊具の充実した大きい公園を整備してほしい。
- ・、駐車場とトイレに近い複合公園を整備して、小さい子が安心して遊べる公園を整備してほしい。冠山総合公園は良い所だが、小さい子には不向きである。
- ・雨でも遊べる場所を作してほしい。 など

【教育に関すること：21 件】

- ・英語キャンプや、中リーなど、リーダーを育てる活動もあり、子どもや大人が成長していける市だと思う。
- ・学校に行けないこどもの行き場を確保してほしい。
- ・就学援助も、所得制限なしにしてほしい。
- ・特別支援学級に理解のある支援者が増えてほしい。先生方はよくやってくれているが、人手不足を感じる。
- ・小学校の授業内容が、多種多様でこどもの好奇心を育てることや、地域の方との交流する等、たくさんの刺激を与えてくれている。先生も熱心でとても感謝している。
- ・学習についていけない子にあった学びが出来る場所、学校に行くのがつらいと感じる子が気軽に相談できる場所が校内にあるとよい。 など

【サンホームに関すること：11 件】

- ・長期休暇中の開所時間を早めてほしい。
- ・サンホームの時間を延長してほしい。
- ・サンホームの環境改善をしてほしい。
- ・サンホームを 1 日単位で利用したい。前日申し込みでも使えるにしようにしてほしい。 など

【保育所等に関すること：11 件】

- ・保育士が足りなくて入れない。
- ・保育料の費用負担が大きい。
- ・職場復帰する時、入りたい保育園に空きがないと言われて困った。 など

【その他：33 件】

- ・給食費の無償化など、経済的支援の充実。
- ・経済的支援に所得制限を付けないでほしい。
- ・インフルエンザなどの予防接種に対しても、補助してほしい。こどもは2回接種するため、負担が大きい。
- ・市役所とあいぱーくが分かれており、手続きに手間がかかる。 など